

令和3年度 公益財団法人入善町文化振興財団事業計画書

1. 文化芸術活動の普及啓発に関すること

(1) コスモホール自主文化事業

令和3年度は、With コロナ、After コロナの中で迎える開館35年目の節目において、ホールを拠点に地域文化を担う人材育成と「入善コスモホール」ブランドの発信をこれまで培ってきた手法に新たな試みを取り入れながら目指す。

また、コロナ禍においても多彩な自主事業を通じて幅広い世代が安心して訪れ、地域の人々に感動や憧れとの出会いを創出するホール運営を目指す。

なお、事業の運営には新型コロナウイルス感染症による影響が予想されることから、公演の内容をふまえて開催期間の状況を段階的に判断しながら実施する。

①「入善コスモホール」ブランドを内外に発信できる優れた音楽事業の開催

内容:優れた音響効果を持つコスモホールの特性を生かして「入善」ブランドを内外に発信できる優れたアーティストと地域の人々との共演や交流企画やインターネットを活用したPR配信も関連させながら、コスモホール独自の公演事業を実施。

・小曾根真 特別プロジェクト(ジャズ・ピアニスト/3月)

世界的ジャズ・ピアニスト小曾根真(おぞね・まこと)が自身の還暦を記念してプロデュースする全国47都道府県を巡る特別公演(地元学生との交流企画も併催)。 ※地域創造助成事業

・ポール・メイエ 室内楽プロジェクト(クラリネット/秋頃予定)

世界的木管アンサンブル「レ・ヴァン・フランセ」のリーダーであり、人気クラリネット奏者のポール・メイエを迎えて地元の音楽家とともに入善限定の記念公演を開催。

・ラデク・バボラーク ピアソラ生誕100年プロジェクト(ホルン/秋頃予定)

世界的ホルン奏者ラデク・バボラークを迎えて地元共演団体とタンゴの巨匠アストル・ピアソラ生誕100年記念の公演を開催(地元吹奏楽団体への公開クリニック等も併催)。

②地域の人々がホールに集い、多彩な芸能文化を体験するプログラム

内容:地域住民が優れた芸能公演を鑑賞できる交流拠点として、ホールにて話題の舞台鑑賞事業を実施する。令和3年度は、人気落語家による公演やボサノバ界の人気歌手や話題のアーティストによる多彩なジャンルの公演事業を実施。

・北日本民謡舞踊入善大会(民謡/5月)

・入善名水寄席 三遊亭円楽・春風亭一之輔二人会(落語/3月)

- ・小野リサコンサート(ボサノバ歌手／11月)
- ・バラエティ講演会(冬頃予定)
- ・映画上映会(夏頃予定)

③青少年が芸術文化に関心を持ち、舞台芸術を体験するプログラム

内容:青少年が身近に芸術文化を体験できるように、鑑賞プログラム、アウトリーチプログラム、参加型プログラム等、幅広い機会を企画。

令和3年度は、町小学5,6年生を対象とした鑑賞会を実施。

- ・入善町小学校音楽鑑賞会(秋頃予定)
- ・小さなお子さんから楽しめる親子のための出前コンサート(冬頃予定)

※富山県公文協補助事業

④地域交流プログラム

内容:ホールを活用した参加体験型事業としてピアノ開放事業に加えて、地域と連携して幅広い交流・共演によるコンサートや話題を提供する企画を実施。

- ・ホール・ピアノ開放プログラム(年4回)
- ・情報発信型シリーズ新企画 コスモホール O-en(応援)プログラム

(案)才能溢れるフレッシュ・アーティストによるジョイント・コンサート(ピアノ／冬頃予定)

才能溢れる富山在住・出身の若い才能と国際的に活躍する若手アーティストによる入善独自のコラボレーション企画。

(案)ジャンルをこえた話題のピアニストを通じてホールから情報発信するライブ(ピアノ／未定)

演奏活動だけにとどまらずに様々な表現活動、情報を発信するピアニストを起用して、ファン層の新たな拡充を目指す。

(案)歌で地域を元気に応援するライブ(歌／未定)

地元富山にゆかりのある歌手を起用して、活動を応援するコンサート企画。

⑤ホール情報会員組織の運営

- ・有料、無料登録会員を対象とした情報配信制度の運営

(2) 美術展企画展示事業

会場となる町民会館の特性を生かし、美術愛好家のみではなく、ホールや図書館、中央公民館の利用者も気軽に鑑賞できる分かりやすい美術展を開催し、町民がアートに触れ親しむ場を提供する。

① ワークショップ(創作体験)による作品展

内容:各分野の専門家を招いて地域の人々を対象にしたワークショップ(創作体

験)を交えながら創造発信の場として実施。令和 3 年度は入善町民会館内のホール、公民館、回廊等の全エリアを会場にワークショップ作品の展示や活動の発表を行う。

- ・町民会館開放 DAY—みんなでコラボ(仮称)

②出張美術館事業

内容:入善町所有美術品を町内の小中学校や公民館で展示し、芸術文化への関心と理解を深めるアウトリーチ事業として実施。

- ・入善町出張美術館(地区公民館を会場にした解説付き移動美術館)

③公民館ギャラリー活性化事業

内容:町民会館ギャラリーを町民の文化交流サロンとして活用し、通年で作品展示事業として実施。

- ・入善町所有美術品を活用した展覧会
このほか、入善町所有美術品の常設展、公民館団体による作品展を予定

(3) 芸術文化振興事業

財団設立以前から町主催で開催している町民参加型の事業で、芸術文化活動をしている町民の発表の場として親しまれている。身近な創作活動の目標となっており、今後も継続して開催する。

① 第 49 回入善町美術展 : 10 月中旬予定

- ・高校生以上の町在住、出身、通勤通学者を対象にした町内最大規模の公募展。絵画、書、写真、彫刻・工芸の 4 部門で構成され、出品者数約 100 名、作品数約 120 点を予定。

② 第 49 回入善町芸能発表会 : 11 月 3 日(水・祝)予定

- ・町内で芸能文化活動をしている団体を対象にした発表会。参加者による実行委員会を構成して開催要項の作成や出演団体の選考を行う。約 30 団体 350 名の出演を予定。

(4) 下山芸術の森企画展示事業

芸術文化の振興と町民の美術に関する学習、創作活動を推進することを目的とする下山芸術の森アートスペース。その目的達成のため、中心施設である発電所美術館を会場に以下の展示事業を行う。

① アート・クリップ 2021（収蔵品展＋県内作家紹介コーナー）

- ・会期：4月24日(土)～5月9日(日)
- ・昨年よりスタートしたシリーズ企画で、収蔵品と解説パネルで過去の展覧会を振り返るとともに、今後の活躍が期待される県内の若手作家や平面作家を紹介。今回はライブドローイングアーティストのミズキヒロシが中二階の壁面に会期中ライブドローイングで巨大な絵を完成させる。

② 晴椋幸一展

- ・会期：6月5日(土)～9月5日(日)
- ・黒部市出身、埼玉県在住の彫刻家、晴椋幸一（はれまき こういち）の個展。鉄による新しい造形、素材の持つイメージを超越した作品を制作。全高8mの巨大な新作を中心とした作品群のほか、舞踏集団「山海塾」のメンバー、蟬丸（せみまる）らと関連イベントも実施。

③ 市川平展

- ・会期：10月9日(土)～3月21日(月・祝)※12/27～1/7は年末年始休館
- ・元彫刻家で、現在は特殊照明家という異色の作家、市川平（いちかわ たいら）の個展。自身で制作した移動光源などの特殊照明装置と巨大な造形作品によって、ダイナミックな動きのある光と影の世界を作り上げる。

2. 文化施設等の管理運営に関すること

(1) 町民会館管理運営事業

- ① 町民会館（ホール、中央公民館）及び文化資料館の管理
- ② ホール、中央公民館の利用促進

(2) 下山芸術の森管理運営事業

- ① 各施設の建物管理（発電所美術館、アトリエ、宿泊棟、ゲート棟、展望棟）
- ② アトリエ、宿泊棟の利活用
- ③ 建物周辺の芝生広場、植栽の管理

3. その他の事業（収益事業）

管理運営する施設等を公益目的とした事業以外で貸与する事業

(1) 図書館としての施設管理

- (2) 入善コスモホール及び中央公民館の公益目的外の施設貸与
- (3) 他会館チケットの販売